



千住いえまちの活動は右に書きましたように多岐に渡っています。その中で私はまち歩きを担当を主にしています。千住に住んでいる人もそうでない人も、自分の住んでいるまちに関心をもって、いつもと違う視点でまちを見つめる。まちに関わることから始めて、自分の住みたいまちは自分たちで作りましょう、と発信しています。2014年からは子どもたちを対象にした、まち歩きも行っています。ここでは子供たちとの2回目のまち歩きと、映画上映、花見とコラボレーションしたまち歩きの報告をします。

2015年1月8日(日)
千住いえまち × ギャラクシティ
『千住こども探検隊』part2
「こども記者」による・
「発見！
千住おもしろスポット！」

今日の子供達は“記者”として、千住のまちの魅力を発見して、他の人に伝える事がミッションです。子供達は各々カメラを持って、まち歩きをしながら面白いこと、気になるものを見つけて、どんどん写真を撮っていきます。千住らしい路地や江戸末期の商家の蔵などをご当主の説明と一緒に見学させて頂きました。まち歩き終了後は各自、自分が撮った写真から、おすすりしたい、とっておきの「おもしろスポット」を5カット選んでランキング形式の写真集を作りました。そして、とっておきの「千住いちおもしろスポット」をイラストで描きました。



2016年4月3日(日)
千住いえまち × キネセンジュ
『寺シネマ』

千住で映画の新しい楽しみ方を提案している“キネセンジュ”さんとのコラボ企画『寺シネマ』。お寺の本堂で上映する映画「あん」は、どら焼き屋さんを舞台にハンセン病をテーマとした深い内容でした。映画にちなんで、北千住駅を出発して桜を愛で、途中では和菓子店に立ち寄り、どら焼きなどのお菓子を買いながら、安養院というお寺にゴールをするというまち歩きです。まち歩きをされた方は映画の中に登場する桜並木のシーンに、まち歩きで歩いた大踏切の桜並木の景色を重ね合わせたのではないかと思います。



* 活動部門

* まちづくり全般

『千住いえまち』 まち歩きイベント

* 千住いえまちプロジェクトについて・・・

江 戸時代、日光街道奥州街道の宿場町として栄えた千住。千住の旧街道を中心とした地域では古民家や蔵といった昭和以前の建物や路地の存在が“千住”ならではのまち並みや雰囲気を作っています。こうした魅力が年々減少することを危惧して2012年より活動を開始しました。古い建物の調査や保存、リノベーション、活用を目指してヨガやまち歩きなどのイベント、マップ作成等行っています。

* 具体的な活動について・・・

- ◆ 調査・記録(資料収集、活用・まち並み調査)
- ◆ 情報発信・共有(まち歩き・紙媒体、WEB発信)
- ◆ 実践的検討(空間活用・勉強会)



応募者代表：宮島 亨

V建築設計室 代表

1995年 明治大学工学部建築学科卒

2001年 V建築設計室

2013年 V建築設計室代表

2007年より縁があって千住で生活しています。私の住まいも旧街道から入る細い路地に面しています。路地は生活空間の延長であり、近隣の方とのコミュニケーションの場でもあります。私はこの下町での暮らしが大好きです。木密地域であり不安な要素も多くありますが建築家として何とかまちに貢献したいと思っています。